

関係各位

J A新潟厚生連
新潟医療センター

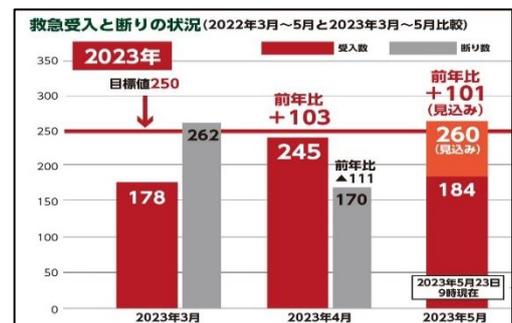
新潟市内における医療再編による新たな救急拠点の整備・運営主体に関する
選定結果を受けての対応

【取り組みと成果】

このたびの選定に厚生連新潟医療センターが応募し、本会及び県内のシンボル病院となるべく、病院では多数の救急搬送の受入目標に向けて各種取り組みを進めてまいりました。応募から短期間にもかかわらず、その成果は数字にも表れました。

- ①救急搬送の受入は急激な伸びを示し、年間目標とした3,000件の達成は確実視される。【図1】
- ②医師をはじめとするスタッフ採用や、病院説明会では新潟医療センターへの訪問者が増加し、注目度が高まっている。【図2】
- ③研修医が高機能病院での研修が組まれる「都市間連携プログラム」を新たに6病院と連携を取りつけ研修医増加が見込める。【図3】

【図1：救急搬送数】



【図2：医師等スタッフ採用関連】



【図3：研修医都市間連携病院】

都市間連携プログラムA	(札幌・南部・千葉徳洲会)
都市間連携プログラムB	済生会茨木病院
都市間連携プログラムC	吹田徳洲会病院
都市間連携プログラムD	湘南鎌倉病院(予定)
都市間連携プログラムE	徳洲会千葉西総合病院(予定)
都市間連携プログラムF	東京ベイ・浦安市川医療センター
都市間連携プログラムG	安城更生病院
都市間連携プログラムH	豊田厚生病院
都市間連携プログラムI (整形外科・スポーツドクター重点)	練馬総合病院(予定)

新規 6病院

この成果は、病院長を先頭に職員一同が目標に向かって取り組んだ賜物であります。

是が非でも、今回の運営主体に選定されるために複数にわたる面接審査では強い覚悟を示し、尽力してまいりましたが、残念ながら今回の選定には至りませんでした。

しかし、新潟医療センターにおいてはこれまでにない変化・変革を成し遂げ、今後一層の体制・強化をはかってまいります。

〔今後の新潟医療センターの方向性〕

- 新潟市内における救急医療の現状と今後の医療再編を勘案し、現建物において最大限の救急車受入可能な取り組みを継続。**医師及び看護師を増員**しながら救急医療の強化をはかり、地域での更なる信頼度を高めて地域医療に貢献する病院を目指します。

これからも新潟医療センター及び厚生連が県内医療を支えていくために努めてまいりますので、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以上